

令和7年度 社会科学習案内

1【社会科の目標】

社会的事象に対する意識を高め、様々な資料などから正しい考察・理解ができる公民としての資質を養う。

- 地理的分野 日本と世界の地理的事象に対する関心を高め、地図や統計資料を有効に活用するなど、多面的・多角的に日本と世界の諸地域を考察・理解することができる。
- 歴史的分野 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚がある。
- 公民的分野 個人の尊厳と人権の尊重の意義、自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深め、国民主権を担う公民としての資質を高めることができる。

2【学習内容】

社会科における1年間の学習内容は1年生が「地理的分野」「歴史的分野」、2年生が「地理的分野」「歴史的分野」、3年生が「歴史的分野」「公民的分野」に分かれています。

3【3年間の学習計画】

	1学期	2学期	3学期
1年	地理的分野「世界の様々な地域」	歴史的分野「身近な地域の歴史」「古代までの日本」「中世の日本」	
2年	地理的分野「日本のさまざまな地域」「身近な地域の調査」	歴史的分野「近世の日本」「開国と近代日本の歩み」	
3年	歴史的分野「二度の世界大戦と日本」「現代の日本と世界」	公民的分野 すべて	

4評価の観点・評価方法

評価の観点	内容	評価の方法
知識・技能	調べて、必要な情報を集め、読み取り、社会的事象の様子について具体的に理解しているか。	調べたことを文などにまとめ、社会的事象の特色や意味などを理解しているかを評価します。定期テストや単元テスト、提出物、授業内での考えや問いで評価します。
思考・判断・表現	社会的事象に着目して、問いを見だし、社会的事象の様子について考え表現しているか。	比較、関連付などして社会的事象の特色や意味を考え、関わり方を選択・判断して表現しているかを評価します。定期テストや単元テスト、レポートなど提出物、授業内の考えや問いで評価します。
主体的、科学的に学習に取り組む態度	予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、課題追究・解決しようとしているか。	よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているかを評価します。課題を自ら見つけ解決しようとする姿勢や態度、話し合う姿勢等で評価します。

5 観点と評定について

4の《3つの観点ABC》の意味と、組み合わせと評定との関連

「十分満足できる」状況と判断 : A

「おおむね満足できる」状況と判断 : B

「努力を要する」状況と判断 : C

* 授業参加の実態がほとんどなかったり、定期試験や単元テスト等が未受験、提出物が出ていない等、評価の材料がない場合、評定不能の判断により、評定欄が斜線の場合があります。

* 観点の内容による傾斜評価はありません。

観点別評価	評定
AAA	5
AAB	4
AAC ABB ABC BBB ACC BBC	3
BCC	2
CCC	1

6 道徳科との関連

社会科の学習で身につける力	道徳で学習する態度
基本的人権の大切さに気づかせ、積極的に社会の偏見や差別をなくそうとする力	事実をよく見つめ、よく考え、正しく判断して行動できるようにする。



7 家庭学習のしかた

授業で学んだことを復習しましょう。授業の最後に、その日の授業のまとめをおこないます。それをしっかり理解できるように、家庭学習でもおこなうとよいです。ワークについては、授業で進んだところまで進めるようにします。復習に活用してください。単元(小単元)が終わったら、まとめて取り組む方法でもいいです。1回で終わるのではなく、何回か繰り返すことをおすすめします。